



小中学校から旬の話題や作品を発信!

スクール ライフ
SCHOOL LIFE

旭小学校

Asahi elementary school

「歌声いっぱい。共に響き合う歌声。」これは、旭小学校の学校目標のひとつです。

6年 染谷 舞さん

私たちの学校にはとてもすてきな歌声朝会があります。歌声朝会では、季節を感じさせる自然の歌や、美しい心を表した友情などの歌を歌っています。主に低学年は主旋律、高学年は低音や高音を担当して二部、三部合唱で歌います。各学級で毎朝練習し、歌声朝会で全校で体育館いっぱいに歌声を響き合われます。

NHKコンクール埼玉県大会で二年連続、銅賞を受賞した私



旭小学校合唱団の模範演奏



美しい歌声が響き渡ります

私たちの旭小学校合唱団の模範演奏も披露されます。合唱団の歌声を聴いて良いところを真似してさらに美しい全校合唱ができるようにします。

また、退場の時は、名人・達人・博士になろうという目標を達成したりコーダーの上手な児童が、きれいで優しい音色をどけてくれます。私はそのたびに音楽のすばらしさを実感します。毎月、「全校で音楽にふれ、音楽のすばらしさを知ってほしい」という、願いがこめられて、歌声朝会があるのだと私は思います。七月の今月の歌は「夏の思い出」です。どんな美しいハーモニーができるのか、今から楽しみです。



よしかわ今昔 『吉川の塔絵馬 (I)』

生涯学習課 ☎984・3563
☎981・5682



蕎高神社「三重の塔絵馬」

本市高富の蕎高神社には、明治十四年（一八八一）に地元氏子鈴木てん氏によって奉納された「三重の塔絵馬」があります。

三重や五重などの多重塔は、我国で独自に発達した木造建築です。寺院の塔は、元来釈迦の墓という意味があります。釈迦が八十歳で入滅した後、遺体を火葬し、その仏舍利（遺骨）を納める塔を建てた事が始まりです。

インドの塔は、石造の土台の上に「ストウパー」という饅頭型の廟を築いたもので、そこに仏舍利が安置されました。最上部は、平らになってこれを石の欄干で囲み、日傘を意味する傘蓋を重ねて建造しました。この

傘蓋は、後年三重の塔などの相輪部分（仏塔の最上部を飾る金属部分で、下から上へ露盤・伏鉢・請花・九輪・水煙・竜車・宝珠から構成）に変化したものと思われれます。塔を建造したのは、高くする事によって、聖なる遺骨が天に届くようにという願いが込められたものと言われています。「ストウパー」は梵語で、我国では「卒塔婆」と訳され、その後「塔婆」「塔」と略されました。

三重の塔は、三層の屋根をもち、各層に扉・窓・高欄を設けた建造物です。内部は、構造を支えるために太い部材が縦横に使用され、人が上がっていく空間がありません。上層階に行くほど細くなっているのが特徴です。川口市西立野の西福寺（真言宗）境内には、高さ二十三メートルの三重の塔（県文化財指定）があります。徳川三代将軍家光の長女千代姫が百観音に帰依した際に、奉建したものです。

吉川市郷土史会会員 中野正一